# きらめき通信 vol.72

2023年1月（隔月発行）

## 令和4年度学生交流会を開催しました

日時：令和4年12月2日（金）
講師：きらめきプロジェクト副プログラム責任者
九州大学環境発達医学研究センター
特任准教授　落合 正行 先生
九州大学大学院医学研究院保健学部門
講師　宮田 潤子 先生

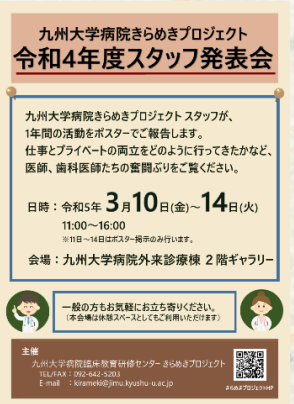
学生のキャリア形成における意識啓発やロールモデルの提供を目的として、お二人の先生方にご講演いただきました。
参加した学生からは、今後のキャリアに関する質問がありました。また、「長い人生がより豊かになるような視点でキャリアを考えたい」、「今後もこの活動を続けてほしい」などの声が寄せられました。

イベントのお知らせ

## 令和4年度スタッフ発表会を開催します

日時：令和5年3月10日(金)、13日(月)、14(火)
11:00～16:00
※11日～14日はポスター掲示のみ行います。
会場：病院外来診療棟 2階ギャラリー

きらめきプロジェクト所属のドクターたちが各々自身の紹介や1年間の活動をポスター形式で発表します。ドクターたちが作成したポスターを会場内に掲示しております。
期間中はどなたでもお立ち寄りいただけます。ドクターたちの奮闘ぶりを是非ご覧ください。





九州大学病院 臨床教育研修センター
きらめきプロジェクト
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1
TEL・FAX： 092-642-5203
E-mail： kirameki@jimu.kyushu-u.ac.jp
URL　： https://www.kiramekipj.kyushu-u.ac.jp/


## 新年のご挨拶を申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。
きらめきプロジェクト副プログラム責任者(歯科部門統括)をしております口腔画像診断科の清水真弓です。
2016年2月に前任者から引き継いで、そろそろ7年になります。
娘が一人おりますが、このお役目が回って来る前は、夫は東京（東京医科歯科大勤務）、自分は実家で両親と一緒の生活で、家事も育児も両親に任せ、ほとんど独身時代と変わらない自由気ままな暮らしをしておりました。ですがちょうど引き継ぎをした頃に母が亡くなり、次の年に父が亡くなり、当時中学生の娘を一人で育てる母子家庭となり、遅まきながら睡眠時間を削って家事と奮闘する毎日が始まりました。そこで初めて、仕事をしながら家庭を維持することの大変さが身にしみてわかりました。そして改めてきらめきプロジェクトに所属する先生方の、出産・育児、介護、自身の病気などと仕事をなんとか両立させようという奮闘ぶりを拝見すると、本当に頭が下がり、できるだけ応援しようと思い直した次第です。
この7年の間に少しずつではありますが、育児休暇の取得率の上昇、時短勤務の浸透など、きらめきプロジェクトの外側でもワークライフバランスを考慮する動きが出てきています。それらが機能し、きらめきプロジェクトが不要になる日が来るのが理想ですが、まだまだ十分というにはほど遠い状態です。加えて医療職というリモートワークができない特殊な環境では、きらめきプロジェクトはこれからも重要な役割を担い続けると考えられます。きらめきプロジェクトは2019年11月からは臨床教育研修センターのキャリア継続研修という、より安定した位置付けとなり、携わるスタッフも増えました。このプロジェクトを大いに活用し、学位や専門医取得、先端技術の習得などにつなげていただきたいと思います。
私自身は微力ではありますが、この制度がもっと認知され、さらに利用しやすく発展していけるよう、努力していきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
末筆になりますが、今年が皆様にとって実り多き1年となりますようお祈り申し上げます。

# 日々頑張っている、きらめきプロジェクト所属のドクターを紹介します

卒後９年目の歯科医師です。
研修終了後すぐに結婚し、歯科から５年ほど離れておりました。
息子が２歳になったころ、そろそろ歯科医師としての自分のキャリアを考えていた時に、恩師から大学病院をすすめていただきました。最初は５年も歯科から離れていたため、不安しかありませんでしたが、医局の先生方にご指導いただき、３か月間研修登録医というシステムを利用し、勉強させていただきました。その後、１年間医局員として勤務しましたが、育児と仕事の両立が難しく、医局の先生に相談し、2021年4月よりきらめきプロジェクトに参加させていただいております。
医局員の時より比較的早い時間に勤務を終えることができるため、家事や息子との時間を増やすことができ、息子の嬉しそうな顔を見る度に、このプロジェクトに参加させていただけたことに感謝しております。
現在は、週２回大学病院で外来診療を行いながら、外勤日では、週３回一般開業医にて、訪問歯科診療で施設等に訪問し、歯科診療や口腔ケアを行ったり、診療だけでなく、幅広い分野の知識やスキルも学ばせていただいております。

　このような生活を送ることができるのもきらめきプロジェクトや理解ある医局の先生方、家族のおげだと思っております。感謝の心を忘れずに、今後も認定医の取得の目標へ向かい、自己研鑽に励んでいきたいと思います。

卒後15年目の医師です。
会社員の夫と元気な1歳児（男の子）の3人家族です。2022年4月よりきらめきプロジェクトに所属させていただいております。育児の時間をゆっくり持ちたいことと、大学病院での臨床研究を継続することを両立したいと思い、きらめきプロジェクトに参加させていただきました。
現在、週1回大学病院で新患および専門外来を担当し、週３回クリニックでの外来業務を担当しております。当直がなく比較的早い時間で勤務が終わるため、空いた時間は臨床研究のデータ収集や論文執筆に割いたり、長年おろそかにしてきた家事業務や子どもの世話にあてたりすることができました。

息子は早産での出生でしたが、幸い丈夫な身体に育ってくれて感染症等で休園することが想像していたよりも少なく、働く身としては大変助かりました。また、きらめきプロジェクト所属中に待望の第二子を授かることもでき、公私ともに大変充実した日々を送らせていただいております。
　家族との十分な時間を持ちながら大学病院での専門分野に携わることができ、かつ自分の臨床研究や論文執筆を進めることができたことは医局の先生方のご理解やきらめきプロジェクトのスタッフの皆様のご支援があったからだと思い、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も周囲の方々への患者を忘れず、自己研鑽を積んでまいりたいと思います。